

2020年4月2日

保護者各位

新型コロナウイルスに対する名古屋学芸大学の対策について

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本学教育にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの脅威が高まる中、お子様へのご心配のほどいかばかりかと、心中お察しいたします。それは、我々の学生に対する気持ちと全く同じものであり、被害を最小限にするための対策に日々全力で取り組んでおります。

ここで、今回の事態に対する現状の本学方針及び安全対策がまとまりましたのでお知らせいたします。確かに社会的な脅威や他への配慮を考えると休校措置は効果的な手段の一つです。一方、ご存じのように本学は管理栄養士、保育士、看護師などの資格取得を目的に持った大学でもあります。実はこのような資格の多くには、学外実習や授業内容の水準確保などの条件が求められており、全学休学という状況が長引くほど学生の4年間の学びだけでなく、4年後の進路にも重大な影響を及ぼしかねないという危惧が生じます。

これら問題点に対して学内で協議を重ねた結果、別紙の安全対策を講じた上で、今後不測の事態が生じなければ当初予定通り4月10日（金）から授業を開始する、という結論に至りました。皆様にはご心配をおかけし誠に恐縮ですが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

名古屋学芸大学学長

杉浦 康夫

別紙 新型コロナウイルスへの具体的な対応

1. 通学時への対応

通学時の主な対応は以下の通りです。

- ・授業により開始時間と終了時間に柔軟性を持たせるなど、混雑時を回避できるように配慮する。
- ・e-ラーニングなどを整備し自宅学習ができるように最大限の準備を進める。
(ただし、現状では実技や実習科目も多く全教科への対応は難しい。このため科目単位で担当教員から指示が出される予定)
- ・スクールバス(大学専用バス)は最大定員の半分(約40名)程度として、乗車中のマスク着用、私語の禁止、換気の徹底、乗車前的手指アルコール消毒などを実施する。
- ・スクールバス(大学専用バス)を共同使用する名古屋外国語大学と授業の開始時期を2週間ずらし、4月当初の混雑を回避する。

2. 授業への対応

授業への主な対応は以下の通りです。

- ・授業前後の手洗い、咳エチケットの指導を徹底する。
- ・近接した着席を避け、一つおきに座るなどを指示する。
- ・窓を開けるなど換気を徹底する。
- ・教卓等のアルコール消毒や教員マスク着用などにより飛沫対策を行う。
- ・学生が直接話し合うような授業内容はできるだけ避けるなど教育方法を工夫する。

3. 学生生活への対応

学生生活への主な対応は以下の通りです。

- ・トイレのドアノブや階段手すりなどは次亜塩素酸水などで適宜消毒する。
- ・学生には通行禁止校舎を設けるなど、できるだけ学生間の交わりを減らす。
- ・学食使用に制限を設ける(利用は20分まで、なるべく離れて座る、私語をしない)。
- ・発病疑いのある学生を隔離し休憩させる臨時的休憩室を建てる。
- ・サークル活動は当面禁止、アルバイトも危険性の高いいわゆる3密(①換気の悪い密閉空間、②人の密集、③近距離での会話や発生、が同時に重なる場)のものは自粛させる。

その他、新たな問題点が発生すれば適宜迅速に対応いたします。